

説明文書

「長期人工呼吸管理患者の肺コンプライアンスの関連因子に関する研究」 ご協力をお願い

【研究の目的】

私たちは、人工呼吸器で管理された患者様の肺コンプライアンスというものについて調べております。肺コンプライアンスとは、肺の硬さのことを指します。人工呼吸器で管理された患者様の肺は硬くなりやすく、呼吸器の設定を徐々に強くしないとうまく呼吸ができない状況がみられることがあります。しかしどのようなことが影響して硬くなるのかということはわかっておりません。2019年に当院において、その要因を検討致しまして、人工呼吸管理日数や肺炎発症回数、無気肺（肺が膨らみにくい部位）の有無などが影響している可能性が考えられました。そこで今回は、前回と同様の方法で検査を行い、1年後の状態変化を観察することで、その影響をより明らかにして、今後の治療やケアに役立てていきたいと考えております。

【研究の方法】

・ご協力して頂きたい内容

①診療記録の閲覧の許可

カルテより、年齢、性別、身長などの患者様の基本的な情報、また呼吸状態や栄養状態、全身状態などのお身体の状態に関する情報について拝見させていただきます。

②肺コンプライアンス（硬さ）の測定

人工呼吸器を通して肺の硬さを測定します。

医師によって人工呼吸器の設定を一部変更しそこから得られる測定値より計算して算出します。

②での測定をする際にはバイタルサインや呼吸状態などを常に観察し行われます。測定については治療上必要に応じて実施される範疇を超えるものではなく、身体的影響が生じる可能性は非常に低いと考えられますが、万が一有害事象（気胸、呼吸困難、低酸素血症、高二酸化炭素血症、急激な血圧上昇・低下および頻脈・徐脈等）が生じる場合は医師・看護師に報告し、しかるべき処置が行われます。処置については保険診療内で行われ、通常の治療を行います。前回実施時においては対象者全員へ実施した結果、すべて問題なく行っております。

【倫理的配慮について】

- ・この研究に参加することに同意しない場合でも何ら不利益をこうむることはありません。また、一旦同意した後でも、いつでも参加を取り消すことができます。
- ・結果を学会や学術雑誌などに発表することがありますが、その時には個人を特定できないようにし、個人情報保護いたします。
- ・情報は厳重に管理し、研究の目的以外には一切使用いたしません。また、研究の終了をもちまして、資料は破棄いたします。
- ・本研究に参加することによる費用の負担はありません。また、謝礼もありません。
- ・本研究は、浅ノ川総合病院倫理委員会の承認を受けて実施されます。

(所属名) 浅ノ川総合病院 リハビリテーションセンター

説明者氏名 小ノ澤 真一

- 疑問や質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

連絡先 : 小ノ澤 真一

浅ノ川総合病院 リハビリテーションセンター

住 所 : 〒920-8621

金沢市小坂町中 82 番地

電話番号 : 076-252-2101

E-mail : onozawashinichi@gmail.com